

2024年1月12日(金)年が明けて、厳寒の最中であるが、こたつから飛び出して歩く事に決めた。
午前中は、「⑨松風の道」(7.3km)を歩き終えて、13:25にゴールの村檜神社に着いた。

午後は「⑩かかしの里ぶどうのみち」(10.8km)を歩き繋げる事にした。今日の宿は小山に取ってあるから、日没まで歩けるが、日暮れが早いから、太陽との競争になる



「⑩かかしの里・ぶどうのみち」概念図 大慈寺の前にある



「⑩かかしの里・ぶどうのみち」コース図 (村檜神社→大平下駅 12.7km)



村檜神社を出ると隣は大慈寺であるから、寺の前に道標があり、県道を少し歩く



東北自動車道路を潜り、東に連なる里山に向かう



岩船集落の広い田圃を横切る



岩船ゴルフ場の間を横切ると



簡単な休み場になっており、石標と石柱が置かれている。ベンチが粗雑だが、腰が下ろせるから楽だ



道標に南天がかぶさるように植えられていて、風情がある



集落の外れに庚申塔が大切に祀られていた。元文元年(1736)と読める



村を出ると里山に向かう、今 14 時過ぎで太陽は西に傾きつつある



日の当たる所は、風もなく暖かいが



杉林の中に入ると、うす暗くなり急に寒くなる



何とか早く峠に出ようと、気があせる



「桜峠」に到着、15時30分だ。予定より遅い。日は大分西に傾いている



桜峠は、東西南北の交差点で、西に下れば大平下駅へ、南に下れば岩船駅へ北に登れば、関東ふれあいのみち「㊥稜線をたどるみち」に繋がる



今まで歩いて来た尾根道、左唐沢山、その尾根、右の山は諏訪岳



ここからは日没との競争、小走りに斜面を下る



本当は、ぶらぶら歩きたい素敵な道だけれど、仕方ない



「清水寺」16 時到着、給水タイム 天平 11 年(839)行基が千手観音を彫り、開山したと伝える



今日のタイトル「ぶどうのみち」に到着、秋ならブドウ狩りの人が大勢だけれど



冬は人っ子ひとり居ないよ。ここまで来れば日が落ちて大丈夫



昔から変わらぬ里の風景なのだろうね。間もなく日没だ



両毛線「大平下駅」に到着。17時丁度



17時20分の電車で今宵の宿、小山に向かう

[参考タイム] 村檜神社(13:30)→桜峠(15:28-15:33)→清水寺(16:00-16:10)→大平下駅
(17:00-17:20)→小山駅(17:40)

この項完

「関東ふれあいの道(栃木)⑪桜咲くパノラマのみち」に続く